

## ❁ 富雄中学校区

めざす子ども像

『命や人を大切にする子』 『感謝の気持ちを大切にする子』  
『夢に向かって進める子』 『富雄を愛する子』

### ▶ 富雄中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	<p>コロナ禍で様々な行事が縮小され、それが当たり前のwithコロナ状態となっているが、子どもたちを見守ろう、共に育もうという地域の機運は下がることなく維持できている。教育に関心の高い地域であるため学習支援に関する取組には関心が高いが、子どもたちが主体的、能動的に活動できる体験の場が少ないことから自己有用感の獲得につながっていない現状がある。</p>
伸ばしたい子どもの具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりをもって自ら人と関わる力</li> <li>○自分の価値に気付き、将来に向かって踏み出す力</li> <li>○地域の歴史、文化に誇りを持ち、地域の一員として考え、行動する力</li> <li>○自律心、責任感</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の各種団体や企業との連携を積極的に持つ</li> <li>○多世代が共に取り組む「防災教育」「郷土学習」を発展、継続する</li> <li>○図書活動支援を充実する</li> <li>○地域の学習意欲向上のため「漢検」「英検」を実施する</li> <li>○学校、地域の現状を理解するための学びの機会を作る</li> </ul>



### ▶ 富雄中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルスの感染防止のため地域の方と集まって活動する機会は未だ少ないが、生徒や保護者は、放課後の学習支援やキャリア教育の支援活動など、多くの学習の場面で生徒と地域の方が共に学ぶ活動の機会があることを理解している。また、花咲きロードの活動などをはじめとした環境整備支援により、自分たちの生活している地域や学校を美しくしていただいていることに感謝している。</li> <li>○ 各事業実施にあたりコーディネーターと学年教員との打合せを大切にすることで、教員の中で地域との協働意識が少し高まってきている。</li> </ul>
伸ばしたい子どもの具体的な力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○しんどい子の立場に立ち、いじめのない仲間づくりができ、時に応じてリーダーシップを発揮できる生徒。</li> <li>○コミュニケーションを通じて自分も人も大切にし、感謝の心を持てる生徒。</li> <li>○多くの出会いと体験をもとに自分の将来を考えて進める生徒。</li> <li>○郷土学習を通じて富雄を誇りをもてる生徒。</li> </ul>
取組内容	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況に合わせ、各事業で形態を工夫し実施していく。「放課後学習」や「キャリア教育」において、豊富な地域人材を活用し、地域の大人から学ぶ機会を多く確保することで、地域の教育力向上を図る。「ベルマークのプレゼンテーション」や「ビブリオバトル」「富中川柳」など生徒の思いや考えを発表する場を増やし、子どもたちの自己表現力を育成していきたい。「花咲きロード」や「放課後学習」などの協議会の取組への教職員の参画を無理のない範囲で増やしていくことで、協働の意識を高めていきたい。</p>



## ▶富雄北小学校 運営委員会

<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>コロナウイルス感染対策から、時間・場所・人に制限があったが、今年度は制限解除の方向にある。 例えば、学校行事や学年をまたいだ活動が実施され、子どもが主体となって運営したり異年齢で交流したりする機会、地域行事が実施され、子ども達が参加したり発表したりする機会、学習支援や登下校見守りによって地域や保護者のボランティアとのつながる機会が増えてくる。子どもたちの活動が広がるなか、学習支援を継続し、挨拶をしたり感謝を伝えたりする態度を育み、伝え合う力を高めていく。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>様々な事業を通して、富雄の『人・もの・こと』に出会い、体験や経験を通して学びを深めたい。地域に誇りをもち、他人を思いやる心・命を大切にすることを育むとともに、自分で判断し、表現できる力を伸ばしたい。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者ボランティアを活用して、子どもたちがより学びに興味をもち、地域に誇りや人との温かいつながりを感じられる事業内容にする。</li> <li>・テレビ会議システム等を活用し、幅広い活動を行う。</li> <li>・学校の様子や学習支援の様子、地域と子どもの活動等幅広く発信するメモリアルコーナーの充実を図る。</li> </ul>



## ▶鳥見小学校 運営委員会

<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>本校の子どもたちは、恵まれた環境に育ち、幼い頃から習い事や、塾などに通い知識が豊富な子どもが多い。同時におとなたちも豊富な知識や様々な職業経験を持った方が多く、教育熱心であり、子どもに対しての関心度も高い。しかし、その豊富な知識や経験を子どもたちのために活かす場がまだまだ少ない。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>低学年においては、状況に応じた気持ちの良い挨拶ができる力、中学年においては、相手の話を思いやりを持って正しく聞く力、高学年においては、自分の考えをまとめ周囲に伝える力を伸ばし、コミュニケーション能力を育てることに、特に注力したい。さらに、6年生に関しては、翌年度からの新生活に、子どもたちが自信をもってスムーズに移行できるように、基礎学力や基本的な学習習慣、挨拶等基本的な生活習慣を継続する力を、再確認し、身につけさせたい。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<p>全ての事業において、地域住民との交流を通してコミュニケーション能力の向上を目指す。また、中学校区内の学校園とともに地域全体で行う「防災教育活動」は、地域のつながりを体験的に理解できる機会とし、「学力向上推進事業」では基礎的な学力、学習方法の確認をできる場としたい。</p>



▶富雄北幼稚園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本園の子ども達の姿として、人なつっこく、友達に優しい。その中で、自分の思いを言葉で伝えられず、相手に譲ってしまったり、自分の主張が強くなってしまったり、コミュニケーション力の弱さが見られる。コロナ禍や電子機器の広がりの影響からか、戸外で十分に遊ぶ経験が少なかったり、人との関わりが希薄になったりしている。保護者同士のつながりの弱さ、コミュニケーション力の不足もあり、1～3歳児までの未就園児の子育て支援『とみっこ広場』を開催することで親子共々、人と関わる場の環境を提供していている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身心ともに健康で生き生きと遊ぶ子ども</li> <li>・明るく、優しく友達を思いやる子ども</li> <li>・なかまと共にやりとげる子ども・多様な方法で表現する子ども</li> <li>・自然や社会の事象に興味を持ち、感動する心をもつ子ども</li> </ul>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生の協力のもと、体を動かす楽しさを味わったり、情緒豊かな心を育んだりする。（剣道や茶道教室、リズム遊び、みんなでABC、お話の会、図書ボランティア）</li> <li>・『花咲きロード』や草引きなど、地域の方々と一緒に協働しながら、コミュニケーション力を高めると共に、自分の地域を美しく愛する実感を味わう。</li> <li>・未就園児子育て支援事業『とみっこ広場』を実施し、交流の場となり、地域の方々と保護者同士のつながりを深め、子育ての楽しさを味わう。</li> </ul>



▶鳥見幼稚園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの感染予防のため、人との距離を考えた上での活動になったり、人と関われる機会が少なくなり、相手の表情の読み取りやコミュニケーションの仕方が学びにくい現状にある。</li> <li>・行動規制の経験からか、家庭でも戸外に出かけて体を動かす経験が減っているようで、体力不足や体幹の弱さも感じられる。</li> <li>・地域の方は大変協力的で、子ども達は、ゲストティーチャーや地域の方との活動を楽しみにしている。</li> </ul>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人との温かい関わりの中で、自尊感情やコミュニケーション能力を高める。</li> <li>・毎日の生活や遊びを通して、様々な活動に主体的に取り組んでいく力。</li> </ul>
<p>取組内容</p>	<p>○コーディネーターと園・地域諸団体・ボランティアとが連携を取り合い、幼児が直接体験を通し、「人のぬくもり」「楽しさ」「学び」「自分らしさ」などを感じ味わえるような取組を行う。</p> <p>○幼児が自ら関わろうとするような、心動かされる機会を保育と結び付けていく。</p>

